単元設定シート「計画シート」

作成日：令和3年7月21日

グループ	単元予定時数
	24

No.（　　）

特別支援学校学習指導要領

個別の指導計画

学習指導要領の各教科の目標から，生徒の実態・段階を踏まえて，個別の目標が設定される。

手順①

教科①	職業
中学部	（教科目標）【ア知識・技能】
2段階	働くことに対する関心を高め，将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。
職業分野ア	
職業分野イ	（教科目標）【イ思考・判断・表現】

「学部，段階，教科」の順で選択していくと，指導要領に記載されている観点の目標が表示されます。
上の枠は「知識・技能」

教科②	国語
小学部	（教科目標）【ア知識・技能】
3段階	
国語イ	（教科目標）【イ思考・判断・表現】 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け，思い付いたり考えたりすることができるようにする。

	（教科目標）【ア知識・技能】
	（教科目標）【イ思考・判断・表現】

単元名（題材名）

モップ清掃

手順③

評価規準	知識・技能
職業	働くことの目的を知り，使用する道具の扱いに慣れることができる。
国語	

評価規準	思考・判断・表現
職業	作業活動をする際に，周りの机などに当てないようにすることに気付き，工夫することができる。
	経験したことを思い浮かべて，伝えたいことを考える

評価規準	主体的に学習に取り組む態度
職業	作業内容を覚え，一定時間作業活動に取り組むことができる。
国語	

学習指導要領に示されている各教科の内容は，「～できる」と**文末変換することで評価規準**になります。
単元によっては複数の内容をまとめて計画するので，「内容のまとまりごとの評価規準」になります。国立教育政策研究所が発刊している「『指導と評価の一体化』のための学習評価に

手順④

評価基準①	知識・技能
A（十分満足）	友達の働きたい場所を聞いたり，モップの使い方と清掃手順を覚える。
B（標準）	自分の働きたい職場を答えたり，モップの使い方を覚える。
C（要努力）	先生の話を聞いて，働いてみたい場所を答えたり，清掃でモップを使ってみる。

評価基準②	知識・技能
A（十分満足）	
B（標準）	
C（要努力）	

評価基準③	知識・技能
A（十分満足）	
B（標準）	
C（要努力）	

評価基準①	思考・判断・表現
B（標準）	モップを机に当てないで清掃する。

評価基準②	思考・判断・表現
A（十分満足）	
B（標準）	
C（要努力）	

評価基準③	思考・判断・表現
A（十分満足）	
B（標準）	
C（要努力）	

設定した評価規準を参考に，評価基準を作成し，教師間で共有してください。
評価規準：大まかな種類ごとに分けられているもの。
(例)漢字問題，文章問題など
評価基準：具体的な数値として評価されているもの。
(例)漢字問題をどれだけ解答できているか。

※ 評価基準は生徒の学習目標となるので，生徒へ提示する際には，評価基準を提示してください。

評価基準①	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足）	技能検定の「モップ」の手順を身に付けるために自分で工夫して最後まで取り組む。
B（標準）	技能検定の「モップ」の手順を身に付けるために，最後まで取り組む。
C（要努力）	先生と一緒に技能検定の「モップ」の手順を確認しながら取り組む。

評価基準②	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足）	
B（標準）	
C（要努力）	

評価基準③	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足）	
B（標準）	
C（要努力）	